

<学習指導案形式 A4判 1枚>

**特別支援 知的障害学級 5組 道徳科学習指導案**

1 単元（題材） はしのうえのおおかみ

2 本時の目標

だれかにやさしくすると何がいいのかを自分の言葉で表現することができる。（思考・判断・表現）

3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (5)	1 だれかにやさしくしてもらったことや、やさしくしたことを振り返る。 ・机を運ぶのを手伝ってくれた。	・児童から意見が出てこないときは、日常生活で教師が見つけた児童のやさしい姿を紹介する。
課題 (2)	2 本時の学習課題を把握する。 だれかにやさしくすると、なにがいいのだろう	・本時の課題を板書する。
展開 (33)	3 教師の範読を聞き、内容を確認する。 (学習内容が分かるように記述する)  4 クマさんを見送っているときの、オオカミの気持ちを考える。 ・クマさん、やさしい ・いい気持ち  5 橋の上で、ウサギを抱き上げて、うしろにおろしてあげたときのオオカミの気持ちを考える。 ・いい気持ち ・いいことした	・場面絵ごとに、紙芝居にして範読をする。 ・内容を理解しやすいように、まず、オオカミとクマの場面までを範読する。 ・オオカミの気持ちを考えるために、教師がクマ役を演じ、児童にオオカミ役を演じさせたあと、オオカミの気持ちを問いかける。 ・一本橋の代わりに、ようかん台の上で役割演技を行う。  ・次の日の、オオカミとウサギの場面を範読する。 ・オオカミの気持ちを考えるために、教師がウサギ役を演じ、児童にオオカミ役を演じさせたあと、オオカミの気持ちを問いかける。
整理 (5)	6 だれかにやさしくすると、何がいいのか考える。 ・やさしくするといい気持ちになる ・自分も嬉しい気持ち ・相手も良い気持ち	

4 評価

誰かにやさしくすると何がいいのかを自分の気持ちを言葉で表現することができたか。

(活動5、6の活動の様子から)